

道路インフラの守り手として 誇りある仕事を未来へとつなげます

代表取締役社長

黒川 修治



「目指す将来像」の実現に向けた取り組みを推進

近年、大林道路を取り巻く事業環境は、ロシアによるウクライナ侵攻など地政学的な脅威に端を発した原油価格の高騰に伴うストレートアスファルトや建設資材の価格上昇に加え、世界的なインフレや円安による影響がサプライチェーンに混乱をきたし、先行き不透明な状態が続いています。一方、当社の主要事業である道路舗装業は、2023年6月に成立した改正国土強靱化基本法のもと、急速に老朽化が進む道路インフラの維持修繕・更新や近年頻発している大規模災害対策として、よりいっそうの対応が求められることになると考えています。

現在、大林道路は創立100周年(2033年)の「目指す将来像」に掲げた“最高水準の技術力と生産性を備えた道のスペシャリスト集団”の実現に向け、その最初の5年間のロードマップである「中期経営計画2022」に全社一体で取り組んでいます。本計画は大林グループの基本方針である「サステナビリティの実現に向けたソリューションを提供する企業」を多分に意識した内容となっており、自らの持続的な発展によって社会に貢献すべく、克服すべき課題を見出し、具体的な取り組みを推進しています。

「働き方改革」と「カーボンニュートラル」の実現に向けて

建設業界全体が直面している極めて現実的な問題として、少子高齢化や入職者の減少を背景とする人手不足の顕在化が挙げられます。2024年4月に適用される改正労働基準法に対応するためにも、当社にとって「働き方改革の完了と多様な働き方への適応」は喫緊の課題であると認識しています。その解決に向けて、2023年4月にDXソリューション部を立ち上げ、現場の施工管理はもとより原価管理や会計処理などのバックオフィス業務についてもデジタル化やDXを通じて、大幅な生産性の向上を図る取り組みを推進しています。また、2022年2月に始動した従業員一人ひとりの業務改革をテーマにした「カエル・プロジェクト」も重要な取り組みです。すでに「業務の見える化」を通じて得た業務改善のノウハウを水平展開していく段階に入っており、徐々に効果が現れ始めています。

現代企業に課せられたサステナビリティの一大テーマである「カーボンニュートラルへの取り組み」も、大林グループ全体におけるGHG排出量の約20%を占める当社が着実に

乗り越えていかなければならない課題です。当社のGHG排出量の70%はアスファルト混合物の製造時のエネルギー使用に由来することから、まずはその分野における重点的な削減施策の検討と取り組みを進めています。具体的には、エネルギー消費量を削減すると同時にCO₂排出量を抑制するフォームドアスファルト混合物製造装置の改良・設置や水素や廃食油といった代替エネルギーの使用によって製造時のCO₂排出量を実質ゼロとする製造プロセスの確立といった成果を生み出しており、カーボンニュートラルを実現するための準備は着実に進んでいます。

人と技術の力でサステナビリティに貢献

私たちが携わる仕事＝ものづくりの多くは、地域社会と身近な環境で行っています。たとえば災害時にはいち早く現場に駆け付け、復旧作業を施し、通行を可能にする——そうした私たちの仕事ぶりは誰に向けても誇れる姿ですし、社会になくってはならない大切な仕事です。しかしながら一方で、私たちの職場が危険で厳しいといったイメージから敬遠されるようなものであっては、自らの持続可能性を高めることにはつながりません。だからこそ、従業員の家族にとっても、そして私たちの仕事ぶりを見ている地域の人々にとっても、安心・安全と実感できる職場を作り上げていく必要があります。当社が企業理念の一端に「人間尊重の経営」を掲げているとおり、人を大切に安心して働ける会社であり続けることが、ステークホルダーからの信頼を高め、ひいては社会のサステナビリティにつながると考えています。

道路という社会インフラの維持・更新は必要不可欠であり、これからの人口減少社会においても、EVなどさまざまな技術の発達とともに時には形を変えながら続いていく仕事といえます。私たちには、これまで長きにわたって道路インフラの守り手としての役割を担ってきた自負があり、直面する課題の1つである「加速するインフラ老朽化対策への貢献」は、私たちが未来に向けて提供できる価値そのものといえます。幸いなことに、私たちは大林グループの一員として、パートナー企業と培った最先端のリソースや協力会社との強いつながりを活用できる立場にあります。私たちはこの誇りある仕事を未来につなげていくために、多様なパートナーとの協業のもとに、インフラの長寿命化や環境負荷低減に貢献する技術開発を成し遂げ、社会全体のサステナビリティに貢献していきます。